

■若松純一氏が学連新理事長に。オープン戦は7試合

北海道学生アメリカンフットボール連盟の2025年度（令和7年度）第1回理事会が4月13日、札幌市生涯学習センターで開かれ、本年度の事業計画、予算案など議案4件をいずれも原案通り了承し、任期満了に伴う役員改選で新理事長に若松純一氏（北海道大OB）、新副理事長に岡本覚氏（北海学園大OB）を選出しました。また春季オープン戦は6月1日から7月13日まで7試合を行うことも了承されました。

若松新理事長は57歳で、北海道大学大学院農学研究院教授。現役時代はRBとしてベストイレブンにも輝きました。2021年から北海道学連常任理事、日本協会と日本学生協会の理事を務めています。広川英人前理事長と吉田肇前副理事長は引き続き常任理事を務めます。

オープン戦は6月1日の北海道大－室蘭工業大戦（札幌学院大グラウンド＝予定）を皮切りに、同8日に釧路公立大－帯広畜産大（帯広畜産大グラウンド）、同14日に北海道科学大－北星学園大・札幌学院大合同チーム、北海学園大－北海道大（円山競技場）、7月6日に東京農業大－帯広畜産大、北海学園大－釧路公立大（円山競技場）、同13日に北海学園大－室蘭工業大（円山競技場）の日程で行われます。

理事会ではこのほか、初の取り組みとして7月13日のオープン戦終了後に、高校生に参加を呼びかけて未来のフットボーラー発掘を目指す「クロスオーバーアスリート測定会」を行うことも承認。「北海道学生アメリカンフットボール連盟50年史」の発行（11月予定）も決めました。

（広報委員 塚田博）